



3 電源吸引器

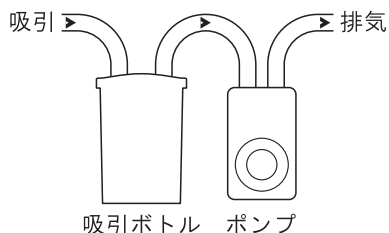
3WAY-750S-2

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をお読みの上、正しくお使いください。

製品概要／警告と注意	1～3
仕様と指示マーク	4
各部の名称	5、6
使用前の準備（充電のしかた）	7
バッテリーについて	8
使用前の準備（シガーライターケーブル）	9
使用方法	10、11
使用後の処理／お手入れ	12
消耗品の交換方法	13、14
故障かな？と思ったら	15、16
技術資料	17～21

製品概要



本器は電動式で、液体又は粒子物質の吸引等の治療に用いる陰圧を発生させる装置です。

警告と注意

- この取扱説明書には製品を正しく使用していただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために色々な絵表示をしています。
- この取扱説明書は臨床的な吸引療法等を説明するものではありません。
- 本書の内容は改良のため将来予告なしに変更することがあります。

■ 警告・注意サイン



この表示を無視して、取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。



この表示を無視して、取扱いを誤った場合、人が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害（家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害）の発生が想定される内容を示します。

■ 禁止・強制の図記号



この記号は禁止の行為であることを示しています。



この記号は指示に基づく行為を強制する内容を示しています。

△ 警告



禁止

- ・患者自身が操作し、吸引を行わないでください。
- ・指定された電圧以外では使用しないでください。
- ・吸引中に部品交換・部品の洗浄など、吸引行為以外のことは行わないでください。
- ・断線の恐れがあるため電源コードを無理に曲げたりしないでください。
- ・発熱や発火の恐れがあるため電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- ・電源プラグ、シガーライターケーブル、バッテリーの金属部分には触れないでください。また、電源プラグ、シガーライターケーブル、バッテリーを操作中に患者と接触しないでください。



ぬれ手禁止

- ・濡れた手で触らないでください。



水場禁止

- ・本体とシガーライターケーブルは防水構造ではありません。水のかかる場所で使用しないでください。また高温多湿の場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。



分解禁止

- ・分解や改造はしないでください。
- ・電源コードは交換しないでください。



電源プラグを抜く

- ・使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・断線の恐れがあるため電源プラグを抜くときはコードを引っ張らず、電源プラグ（金属ではない部分）を持って抜いてください。



必ず守る

- ・使用前に正常に作動することを確認してください。
- ・電源コードは赤い線まで引き出してご使用ください。また赤い線が見えたら、それ以上は引き出さないでください。
- ・電源コードの引き出しや収納を速いスピードで行わないでください。
- ・シガーライターケーブルは本体に接続後、シガーライターソケットに接続してください。



高温

- ・使用状況によって、本体の一部（底面）の温度が最大49℃になります。火傷を生じることがあるため、熱いと感じたら触らないでください。



禁止

- ・採血、脂肪吸引に使用しないでください。
- ・ポンプがロックすることがあるため、吸引中に連続した運転スイッチの切替え（ON/OFFの繰り返し）をしないでください。
- ・吸引ボトルに薬剤を入れたまま保管しないでください。
- ・他社部品や異なる器種の構成部品を接続しないでください。
- ・排気口はふさがらないでください。
- ・低圧維持型吸引器に準じるような長時間のご使用はしないでください。
- ・強い振動や衝撃を与えないでください。
- ・本器各部に注油しないでください。

- ・本器は、EMC（電磁両立性）規格 JIS T 0601-1-2:2018に適合しておりますが、周囲の強い電磁波（携帯電話や無線機の電波、他の機器との近接、静電気、落雷等）により、状況と異なるランプの点灯や正常に作動しない場合があります。その場合は、設置場所の変更、他の機器との近接回避、運転スイッチをOFFにして電源プラグを外し、再作動させるなどの処置をしてください。
- ・本器は航空機搭載可能基準に適合しておりません。
- ・車内で使用する場合は、駐車又は停車した状態で使用してください。走行中は使用しないでください。
- ・車内でシガーライターケーブルを使用する際は、車載バッテリーの故障（バッテリー上がり等）に注意してください。
- ・本器は安定した水平な場所に設置してください。
- ・本器及び電源プラグ、シガーライターケーブルの操作に支障がないように設置してください。

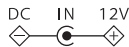


必ず守る

- ・ご使用後は洗浄、消毒を行ってください。
- ・組立時には部品に異常がないことを確認し、無理な力を加えずに正しく組立て、正常な作動を確認してください。
- ・吸引圧調整ダイヤルは分解や無理に回すなどしないでください。
- ・ご購入された時から2年ごとに定期点検を受けてください。
- ・故障した場合は販売店又は専門家に修理を依頼してください。
- ・廃棄はお住まいの地区の法令・政令・条例等に従ってください。
- ・修理依頼品・廃棄依頼品は、取扱説明書等をお読みの上、洗浄等のお手入れを実施後、送付くださいますようお願い申し上げます。なお、運搬を含む作業員の安全と衛生を確保するため、洗浄等が行われていない品は、受付をお断りさせていただくこともございますので、あらかじめご了承ください。また、感染症患者に使用、または汚染された製品の修理依頼・廃棄依頼はお断り申し上げます。当該製品の修理・廃棄につきましては、医療施設、医療従事者の指示に従い措置をお願い致します。感染症についての情報は、厚生労働省、国立感染症研究所のホームページ等をご覧ください。

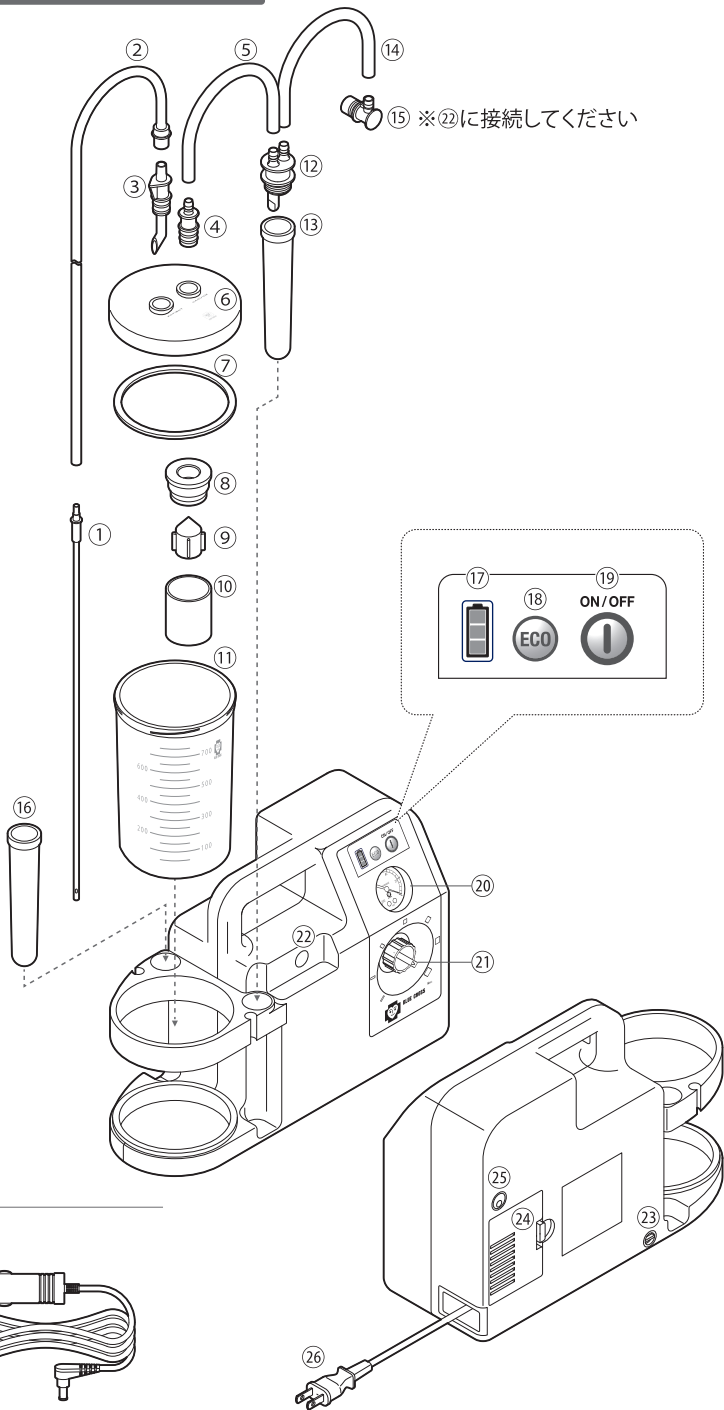
仕様と指示マーク

電気的定格	【交流電源使用時】 電源電圧：AC100V 50/60Hz 電源入力：40VA	【シガーソケット使用時】 電源電圧：DC12V、2A 電源入力：24VA
バッテリー	12V 1500mAh	
バッテリー充電時間	約 90分※	
バッテリー運転時間	約 90分※（無負荷、連続運転、満充電）	
最大吸引圧	-80kPa±10%	
排気流量	16L/min±15%	
本体寸法／質量／ボトル容量	329×122×235mm / 2.7kg / 750mL	
使用環境条件	周囲温度範囲 +10～+35℃ 相対湿度範囲 30～75%（非結露） 気圧範囲 700～1060hPa	
輸送及び 保管環境条件	周囲温度範囲 -20～+60℃ 相対湿度範囲 10～95%（非結露） 気圧範囲 700～1060hPa	
電撃に対する 保護の形式		クラス II 機器
電撃に対する 保護の程度		B形装着部 （本製品はカテーターを装備していません。）
		本書（取扱説明書）をご参照ください。 〔付属書類：取扱説明書、添付文書〕
		シガーライターケーブルに関する警告



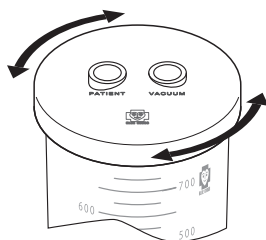
※当社測定結果によるものです。

各部の名称



- ① カテーテル（別途購入品）
- ② 吸引チューブ（装着部）
- ③ 直型アダプタブルー
- ④ 直型アダプタグレー
- ⑤ 連結ホース（15cm）
- ⑥ ボトルキャップ750
- ⑦ ボトルパッキン750
- ⑧ フロートバルブ
- ⑨ フロート本体
- ⑩ フロートガイド
- ⑪ 吸引ボトル 750mL
- ⑫ 補助ボトルキャップ22
- ⑬ 補助ボトル22
- ⑭ 連結ホース（15cm）
- ⑮ フィルタ内蔵コネクタ
- ⑯ カテーテル差し（PC）
- ⑰ バッテリーランプ
- ⑱ ECOスイッチ
- ⑲ 運転スイッチ
- ⑳ 真空計
- ㉑ 吸引圧調整ダイヤル
- ㉒ フィルタ内蔵コネクタ接続口
- ㉓ フィルタセット／排気口
- ㉔ バッテリーボックスカバー（バッテリー収納部）
- ㉕ DCジャック
- ㉖ 電源プラグ
- ㉗ バッテリー※ご購入時本体にセット済み
- ㉘ シガーライターケーブル（MI-1903）

- ③～⑪ 吸引ボトル750mL一式
 ⑫と⑬ 補助ボトル22一式

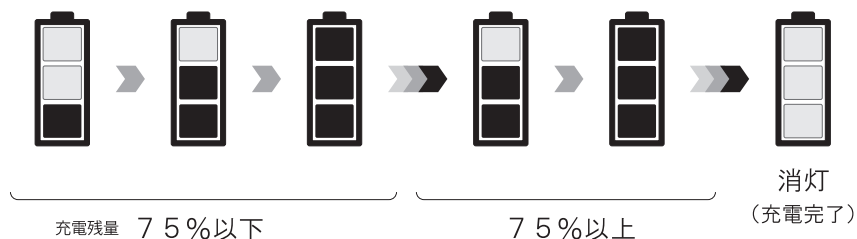


ボトルキャップ750の開閉
 あける：左回り
 しめる：右回り

使用前の準備（充電のしかた）

- 1 電源プラグをコンセントに接続してください。
※使用直後又は充電直後などバッテリーに熱がある場合、充電は開始されません。詳しくは「バッテリーについて」（8ページ）をご参照ください。
- 2 充電残量が75%以下の場合、90分後にバッテリーランプが消灯し充電が完了します。

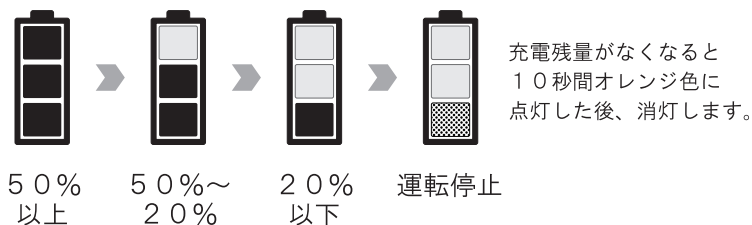
点滅パターン



- 3 電源プラグをコンセントから外してください。
使用方法（10ページ）へお進みください。

■バッテリー運転時のバッテリーランプ（充電残量）の表示

点灯パターン



※数値は全て「約」です。

バッテリーについて

- 本器はバッテリーの充電残量が極端に少ない場合や、強い電磁波を発する機器の近くで使用した場合に、通常運転またはバッテリーの充電ができないことがあります。この時、通常動作と異なるランプの点灯があります。その場合は以下の手順に従ってご対応ください。
 - ① 運転スイッチをOFFにしてください。
 - ② 電源プラグをコンセントに接続して3分程お待ちください。
 - ③ 電源プラグをコンセントから外してください。
 - ④ 30秒程そのままお待ちください。
 - ⑤ 電源プラグをコンセントに接続し、充電中を示す点滅を確認してください。上記のご対応でも正常な運転または充電ができない場合は、販売店へ修理をご依頼ください。
- 使用状況によりバッテリーの温度が上昇し、使用直後に充電が出来ない場合がありますが、これはバッテリー保護の為に、安全回路が温度上昇を感知したもので故障ではありません。その場合、冷却時間をおいて充電を再開してください。

■ ニッケル水素バッテリーの特性について

● メモリー効果

バッテリーを十分に使い切らない状態で充電を繰り返すと、充電量が少なくなり使用時間が短くなる事があります。これはメモリー効果と呼ばれる、見かけ上の電池容量が少なくなった現象です。この現象は一時的なものですので、充電量が少なくなったと感じた場合は、十分な放電を行うことで回復する事ができます。

● 自己放電

バッテリーは使用していなくても、わずかに自己放電をしています。長期間吸引器をご使用にならない場合は、バッテリーを吸引器本体のコネクタから外して保管してください。

● 寿命

バッテリーは充放電を約500回程度繰り返すと、充電量が極端に少なくなります。使用時間が著しく短くなったと感じた場合は、新しいバッテリーと交換してください。または2年を目安に交換してください。

△ 警告

- ⊕端子と⊖端子を接触（ショート）させないでください。
- 火中に投入しないでください。
- 電解液が皮膚や衣服に付いたときは直ちに多量の水で洗ってください。眼や口に入ったときは、前記の処置をしたうえで医師の診断を受けてください。

※充電時間、使用時間は、使用環境やバッテリーの状態によって異なります。

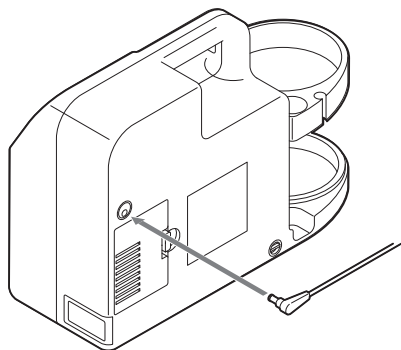
使用前の準備 (シガーライターケーブル)

- シガーライターケーブルを使用しない場合は使用方法（10ページ）へお進みください。

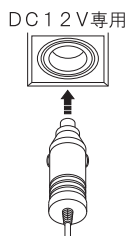
⚠警告

- ⊗付属のシガーライターケーブル以外は接続しないでください。
- ⊗DC 12V以外のシガーライターソケットでは使用しないでください。

- 1 シガーライターケーブルのプラグを本体のDCジャックに接続してください。



- 2 シガーライターを車のシガーライターソケットに接続してください。

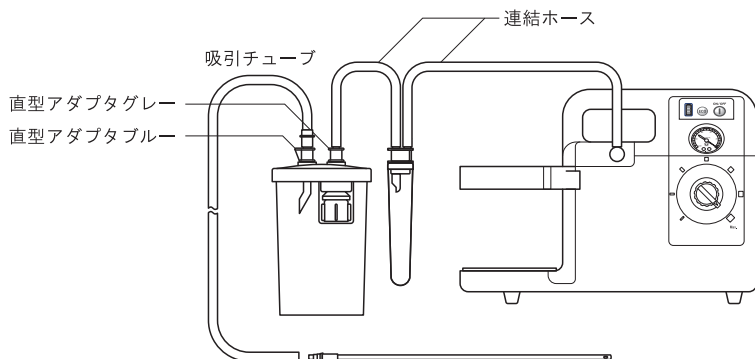


- 3 使用方法（10ページ）へお進みください。

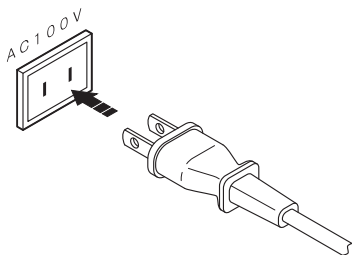
- 使用後は、下記の順番通りに行ってください。

- ①運転スイッチを押すと運転は止まり（OFF）消灯します。
- ②シガーライターソケットからシガーライターを取り外してください。
- ③本体のDCジャックからシガーライターケーブルのプラグを取り外してください。

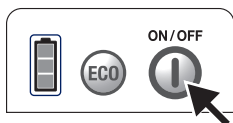
- 1 構成品を接続してください。
※カテーテルは気管支吸引用カテーテル（一般的名称）を推奨します。
※説明のためホースは実物より長く示しています。



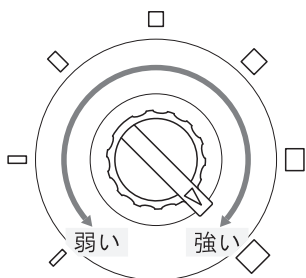
- 2 電源プラグをコンセントに接続してください。



- 3 運転スイッチを押すと点灯し、吸引が開始されます。



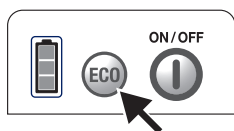
- 4 吸引圧の調整は、真空計を確認しながら吸引圧調整ダイヤルを回してください。



- 5 吸引を行ってください。

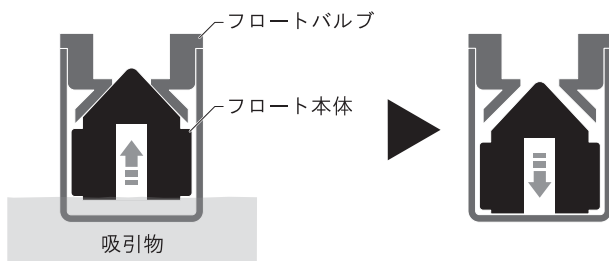
ECO運転

ECOスイッチを押すと、点灯しECO運転となり、もう一度押すと解除され消灯します。



△注意

- ① 吸引物を溜めたまま急激に吸引すると、本体への流入の原因となるため、吸引物はフロート本体に達する前に捨ててください。
- ② フロート本体がフロートバルブをふさいだ場合や補助ボトル22に吸引物が入った場合は、運転スイッチをOFFにして、吸引物を捨ててください。



使用後の処理

- 1 水を吸引し吸引チューブ内の吸引物を除去してください。
※吸引ボトルに空きがない場合は吸引物を捨ててから行ってください。
- 2 運転スイッチを押すと運転は止まり消灯します。
電源プラグをコンセントから外してください。
※一度OFFにするとECO運転は解除されます。
- 3 吸引物を捨て、お手入れを実施してください。

お手入れ

	<ul style="list-style-type: none">・水洗い・次亜塩素酸ナトリウム・グルコン酸クロルヘキシジン・塩化ベンザルコニウム
本体（バッテリー含む） シガーライターケーブル フィルタセット フィルタ内蔵コネクタ	×
吸引ボトル750mL一式 補助ボトル22一式 カテーテル差し（PC） 吸引チューブ／連結ホース	○

※分解して洗浄、消毒してください。

※消毒により部品の寿命は変動することがあります。

※薬剤により変色等の変化があります。

※本体の汚れは、中性洗剤を少量加えた湿らせた布で汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。

※消耗品は定期的に交換してください。

⚠注意

○煮沸、オートクレーブしないでください。

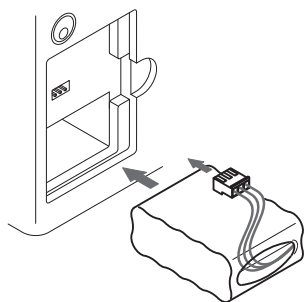
○乾燥させる際、ドライヤーや電子レンジ等を使用しないでください。

○両性界面活性型外用殺菌消毒剤等の薬液は使用しないでください。

●薬剤の取扱いは、薬剤の取扱説明書等をお読みください。

■ バッテリーの交換

- ① 運転スイッチがOFFであること、電源プラグやシガーライターケーブルが接続されていない事を確認してください。
- ② バッテリーボックスカバーを開け、古いバッテリーを取り出し、コネクタを外してください。
- ③ 新しいバッテリーのコネクタを接続し、バッテリーを下図の向きで本体に収め、バッテリーボックスカバーを閉じてください。

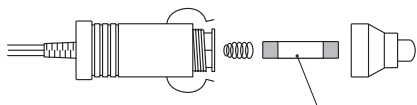


⚠ 警告

- ❶ 交換の際は、電源プラグ、シガーライターケーブルを接続しないでください。
- ❷ 断線の恐れがあるため、バッテリーのコードを無理に曲げたり、バッテリーボックスカバーに挟んだりしないでください。

■ ヒューズの交換（シガーライターケーブル）

シガーライターケーブルが本体に接続されていない事を確認し、先端を回転させ取り外し、ヒューズを交換してください。



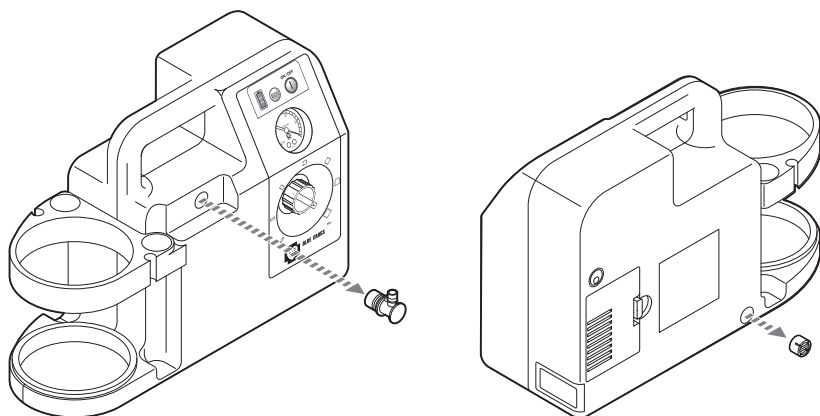
250V3Aヒューズφ6×30

⚠ 警告

- ⊙規格以外のヒューズは使用しないでください。
- ⊙ヒューズ交換の際は、シガーライターケーブルを本体に接続しないでください。

■ フィルタの交換

フィルタ内蔵コネクタ／フィルタセットを本体から外し、新しいフィルタ内蔵コネクタ／フィルタセットを取り付けてください。



こんなとき	原因
運転スイッチをONにしても電源が入らない。	電源プラグがコンセントに正しく接続されていない。
	シガーライターケーブルが正しく接続されていない。
	シガーライターケーブルのヒューズが切れている。
	充電ができていない。
	過放電状態
充電ができない。	電源プラグがコンセントに正しく接続されていない。
	過放電状態
バッテリーランプの点滅がおかしい。	→
吸引力が弱い。 吸引できない。	各フィルタが目詰まりを起こしている。
	構成品が正しく組み立てられていない。 正しく接続されていない。
	フロート本体がフロートバルブをふさいでいる。

処置	参照ページ
電源プラグをコンセントに正しく接続してください。	10
シガーライターケーブルを正しく接続してください。	9
シガーライターケーブルのヒューズを交換してください。	14
充電してください。またはバッテリーを交換してください。	7、13
バッテリーについて（8ページ）をご参照の上、充電してください。またはバッテリーを交換してください。	7、8、13
電源プラグをコンセントに正しく接続してください。	7、10
バッテリーについて（8ページ）をご参照の上、充電してください。またはバッテリーを交換してください。	7、8、13
→	3、7、8
各フィルタを交換してください。	14
構成品を正しく組み立ててください。 正しく接続してください。	5、10
フロート本体を下げてください。	11

上記の方法で処置しても解決しない場合は修理を依頼してください。

ガイドダンス及び製造業者による宣言—電磁エミッション—

3WAY-750S-2 は次に指定した電磁環境内での使用を意図している。3WAY-750S-2 の顧客又は使用者は、そのような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

エミッション試験	適合性	電磁環境 - ガイドダンス
RF エミッション CISPR11	グループ 1	この 3WAY-750S-2 は、内部機能のためだけに RF エネルギーを使用している。したがって、その RF エミッションは、非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RF エミッション CISPR11	グループ B	この 3WAY-750S-2 は、住宅環境及び住宅環境の建物に供給する商用の低電圧系に直接接続したものを除く全ての施設での使用に適している。
高調波エミッション IEC 61000-3-2	非適用	
電圧変動 / フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	非適用	

ガイドランス及び製造業者による宣言—電磁イミュニティー

3WAY-750S-2 は次に指定した電磁環境内での使用を意図している。3WAY-750S-2 の顧客又は使用者は、そのような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

イミュニティ試験	JIS T 0601 試験レベル	適合性 レベル	電磁環境 - ガイドランス
静電気放電 (ESD) JIS C 61000-4-2	±8kV 接触 ±15kV 気中	±8kV 接触 ±15kV 気中	床は、木材、コンクリート又はセラミックタイルであることが望ましい。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも30%であることが望ましい。
電氣的ファースト トランジェット / バースト JIS C 61000-4-4	±2kV 電源ライン	±2kV 電源ライン	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
サージ JIS C 61000-4-5	±1kV ラインーラ イン間	±1kV ラインーラ イン間	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
電圧ディップ、 瞬停および電圧変動 JIS C 61000-4-11	0%UT (0.5 サイクル) 0%UT (1 サイクル) 70%UT (25 サイクル) 0%UT (250 サイクル)	0%UT (0.5 サイクル) 0%UT (1 サイクル) 70%UT (25 サイクル) 0%UT (250 サイクル)	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。3WAY-750S-2 の使用者が、電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合には、3WAY-750S-2 を無停電電源又は電池から電力供給することを推奨する。
電源周波数磁界 JIS C 61000-4-8	30A/m	30A/m	電源周波数磁界は、標準的な商用又は病院環境における一般的な場所と同レベルの特性をもつことが望ましい。

備考 Ur は、試験レベルを加える前の、交流電源電圧である。

ガイダンス及び製造業者による宣言－電磁イミュニティー

3WAY-750S-2 は次に指定した電磁環境内での使用を意図している。3WAY-750S-2 の顧客又は使用者は、そのような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

イミュニティ試験	JIS T 0601 試験レベル	適合性 レベル	電磁環境ガイダンス
伝導 RF JIS C 61000-4-6	3 Vrms (150kHz ～ 80MHz)	3 Vrms	<p>携帯形および移動形 RF 通信機器は、3WAY-750S-2 のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないことが望ましい。</p> <p>推奨分離距離</p> <p>$d = 1.2\sqrt{P}$</p>
放射 RF JIS C 61000-4-3	6 Vrms (150kHz ～ 80MHz 間の ISM 帯域、アマチュ ア無線帯域)	6 Vrms	<p>$d = 0.6\sqrt{P}$</p> <p>10V/m (80MHz ～ 2.7GHz)</p>

備考 1 80MHz および 800MHz においては、高い周波数範囲を適用する。

備考 2 これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝搬に影響する。

注 a) 例えば無線（携帯／コードレス）電話および陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM・FM ラジオ放送および TV 放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に論理的に予測をすることはできない。固定 RF 送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮することが望ましい。3WAY-750S-2 を使用する場所において測定した電界強度が上記の適用する RF 適合レベルを超える場合は、3WAY-750S-2 が正常動作をするかを検証するために監視することが望ましい。異常動作を確認した場合には、3WAY-750S-2 の、再配置または再設置のような追加対策が必要となるかもしれない。

携帯形及び移動形 RF 通信機器と 3WAY-750S-2 との間の推奨分離距離

3WAY-750S-2 は、放射 RF 妨害を管理している電磁環境内での使用を意図している。3WAY-750S-2 の顧客または使用者は、送信機器の最大出力に基づく次に推奨している携帯形および移動形 RF 通信機器（送信機）と 3WAY-750S-2 との間の最小距離を維持することで、電磁障害を抑制するのに役立つ。

送信機の最大 定格出力電力 W	送信機の周波数の基づく分離距離 m			
	150kHz ~ 80MHz $d = 1.2\sqrt{P}$ (3 Vrms)	150kHz ~ 80MHz $d = 0.6\sqrt{P}$ (6 Vrms)	80MHz ~ 800MHz $d = 0.4\sqrt{P}$	800MHz ~ 2.7GHz $d = 0.7\sqrt{P}$
0.01	0.12	0.06	0.04	0.07
0.1	0.38	0.19	0.13	0.22
1	1.2	0.6	0.4	0.7
10	3.8	1.9	1.3	2.2
100	12	6	4	7

上記にリストしていない最大定格出力電力の送信機に関しては、メートル (m) で表わした推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。ここで、 P は、送信機製造業者によるワット (W) で表わした送信機の最大定格出力電力である。

備考 1 80MHz 及び 800MHz においては、分離距離は、高い周波数範囲を適用する。

備考 2 これらの指針は、全ての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は 電磁波の伝搬に影響する。

ガイダンス及び製造業者による宣言－電磁イミュニティー

RF 無線通信機器からの近接電磁界

JIS C 61000-4-3

試験周波数 (MHz)	帯域 a) (MHz)	通信サービス a)	変調 b)	最大電力 (W)	分離距離 (m)	イミュニティ試験レベル (V/m)
385	380 ~ 390	TETRA 400	パルス変調 b) 18 Hz	1.8	0.3	27
450	430 ~ 470	GMRS 460 FRS 460	周波数変調 c) ±5 kHz 偏移 1 kHz 正弦波	2	0.3	28
710 745 780	704 ~ 787	LTE Band 13, 17	パルス変調 b) 217 Hz	0.2	0.3	9
810 870 930	800 ~ 960	GSM 800/900 TETRA 800 iDEN 820 CDMA 850 LTE Band 5	パルス変調 b) 18 Hz	2	0.3	28
1720 1845 1970	1700 ~ 1990	GSM 1800 CDMA 1900 GSM 1900 DECT LTE Band 1, 3, 4, 25 UMTS	パルス変調 b) 217 Hz	2	0.3	28
2450	2400 ~ 2570	Bluetooth WLAN 802.11 b/g/n RFID 2450 LTE Band 7	パルス変調 b) 217 Hz	2	0.3	28
5240 5500 5785	5100 ~ 5800	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 b) 217 Hz	0.2	0.3	9

注記 イミュニティ試験レベルを達成するために必要な場合は、送信アンテナと 3WAY-750S-2 との間の距離を 1m まで近づけてもよい。JIS C 61000-4-3 では、1m の試験距離を許容している。

注 a) 幾つかのサービスでは、上り回線周波数だけを含む。

b) 搬送波は、デューティ比 50 % の方形波で変調する。

c) 周波数変調の代わりに、18 Hz での 50 % パルス変調を使ってもよい。これは、実際の変調を表すわけではないが、最悪状態と考えられるからである。

お問い合わせ先



www.bluecross-e.co.jp

ブルークロス株式会社

第1版〔2020年6月〕